

経済学部(経済数理学科・現代経済学科 共通)

2025年度AOマルデス入試 二次審査課題

成蹊大学 経済学部

1. 二次審査について

二次審査は約40分間の事前学習確認審査と約20分間の発表審査です。課題の文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考えを表現する力を審査します。二次審査の注意事項に関しては、「AOマルデス入試要項2025」の15ページ以降をご確認ください。

2. 課題となる文献資料

内閣府の世界経済の潮流/世界経済白書の“2024年I(令和6年7月30日)-AIで変わる労働市場-”から以下の部分。

- “第1章 AIで変わる労働市場”の3ページ~37ページまで。
※7ページと23ページから25ページのBox.の内容は、事前学習確認審査には出題される可能性があるが、発表要旨(レジュメ)には含めない。

➤ 文献資料は、以下のウェブサイトから閲覧・入手可能です。

https://www5.cao.go.jp/j-j/sekai_chouryuu/sh24-01/pdf/sl-24.pdf

3. 事前学習確認審査について

課題となる文献資料を参照しつつ、それにもとづいた筆記試験を行います。文献資料を正確に理解し、分析に必要な基礎力を審査します。

- 参照用の文献資料は、全部または一部を抜粋した物を解答用紙と共に配布します。自身で印刷した文献資料の持ち込みは認めません。
- 受験生は試験開始30分前までに試験場に入り、着席してください。
- 試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。

4. 発表審査について

課題となる文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考え方を表現する力を対面による個人面接で審査します。審査は以下の3つの内容で構成されます。

- ① 発表要旨(レジュメ)にもとづく10分間のプレゼンテーション。
 - ② 発表内容やレジュメに関する5分程度の質疑応答。
 - ③ 志望理由や活動歴などについての自己アピール(2分間)と質疑応答。
- 以下の内容の発表要旨(レジュメ)を日本語で作成してください。
 - ・ 上記2の文献資料の内容(ただし、文献資料の7ページと23ページから25ページのBox.の内容は除く)をA4用紙の半分程度にまとめること。
 - ・ 上記2の文献資料で得た情報を「自分の将来にどう生かすか」を、1点以上の別の参考文献と共に比較・検討・考察し、A4用紙の半分程度にまとめること。
 - ・ 受験番号と氏名を右上に記入してください。(手書きでも構いません。)
 - レジュメの作成については「AOマルデス入試要項2024」の15ページ以降をご確認ください。
 - プレゼンテーションは、自身で印刷した上記2の文献資料、レジュメおよびメモやノートを手元に置き、参照しながら発表することが可能です。
 - レジュメ作成に際してはパソコンなどを用いて構いませんが、発表審査時にはデジタルデバイス(スマートフォン・パソコン等)の使用は認めません。

- 発表要旨(レジュメ)を3部印刷してご持参ください。事前学習確認審査開始前にそのうち2部を提出していただきます。
- 事前学習確認審査を未受験の場合には、発表審査を受験することはできません。

5. 問い合わせ先

成蹊大学アドミッションセンター 経済学部担当

TEL:0422-37-3533

Mail:nyushi@jim.seikei.ac.jp

以上